

第2回 奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会 次第

令和7(2025)年5月26日(月) 15:00～

於 栃木県庁研修館401研修室

1 あいさつ

2 自己紹介

3 議題

(1) 検討会規約の一部改訂について

(2) 地域課題について

(3) 調査の方向性について

(4) 今後のスケジュールについて

4 その他

第2回 奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会

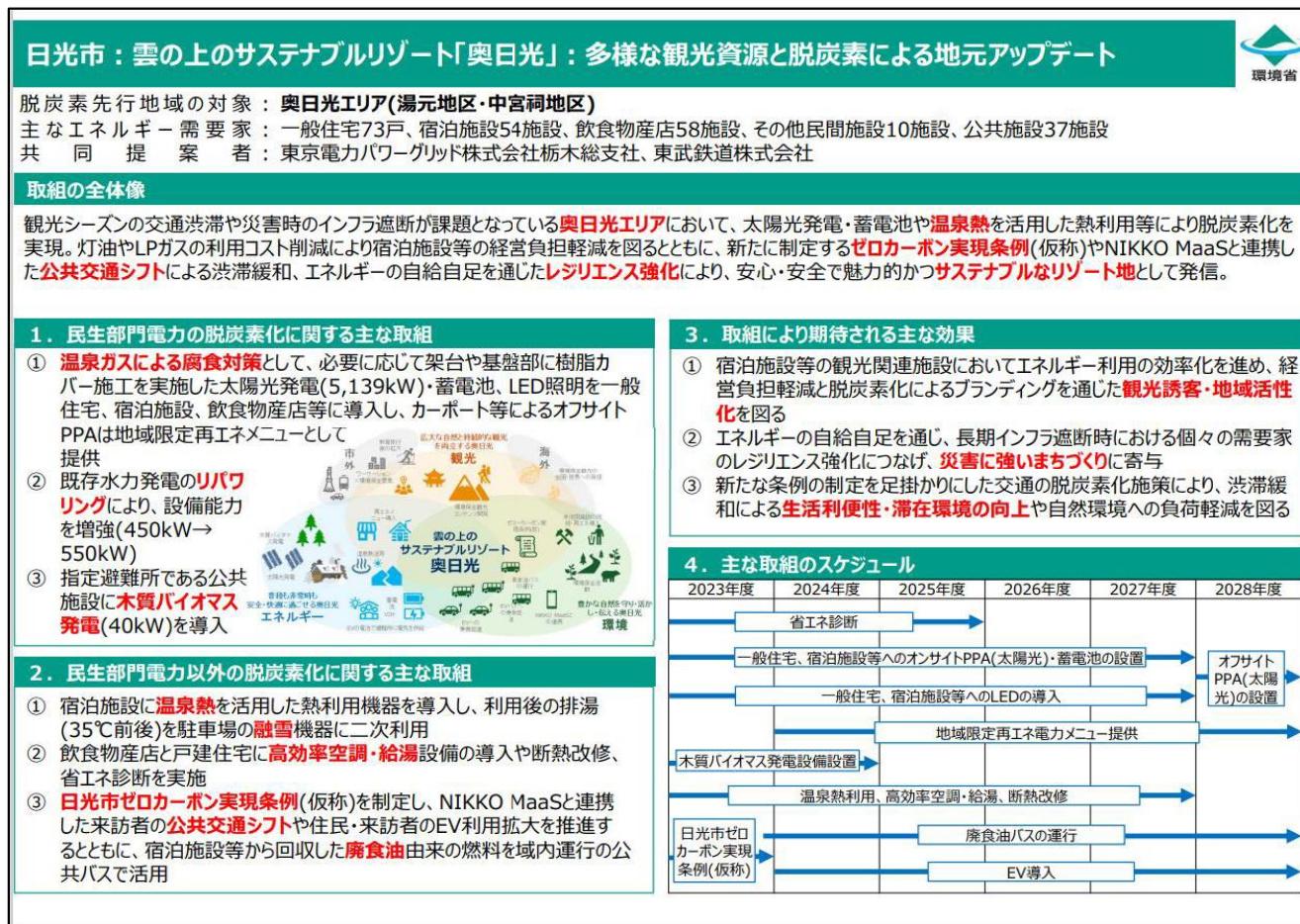
令和7年5月26日
栃木県交通政策課

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【環境】

・脱炭素先行地域における取組

→ 「観光」「環境」「エネルギー」の地域課題を解決する取組を実施



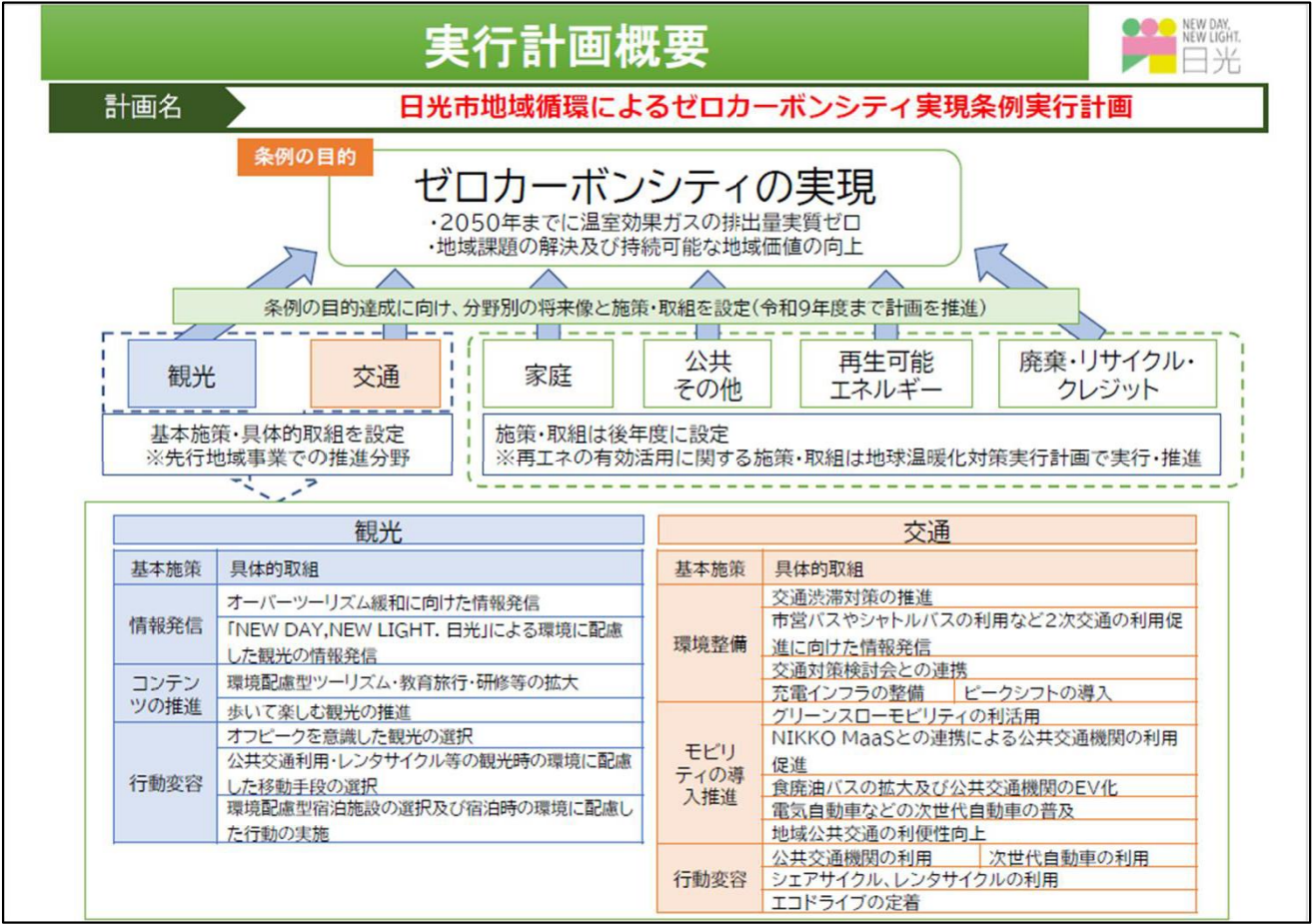
■雲の上のサステナブルリゾート「奥日光」：多様な観光資源と脱炭素による地元アップデート

(<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/assets/preceding-region/3rd-keikaku-gaiyo-04.pdf>)

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【環境】

- 「日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例実行計画」による取組
→ゼロカーボンシティの実現に向け分野別の将来像と施策・取組を設定



■日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例実行計画
(<https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/6/1031/2/3/7322.html>)

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【環境】

- 「日光国立公園ステップアッププログラム2025」による取組
→ 日光国立公園において目指す姿と取組の方針に基づき各種取組を実施

日光国立公園ステップアッププログラム2025 概要版

1 現状分析

(1) 日光国立公園の特徴

- 日本最初の国立公園の一つ
- 火山群と水環境が織りなす自然景観(森林、湖、湿原、滝、渓谷等)
- ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」など、世界的にも貴重な自然
- 世界遺産や皇室ゆかりの施設などの歴史・文化遺産も多数
- 歴史ある古湯・秘湯も多数
- 鉄道・高速道路など首都圏からのアクセスが良好(公共交通で約2時間)

(3) 日光国立公園の課題

- ハード整備、人材育成等による受入態勢整備
- 滞在時間延長、宿泊・長期滞在促進による観光消費額の増加
- 繁閑平準化のための閑散期を中心とした誘客
- 二次交通の充実等による交通の利便性向上
- 情報発信・案内力の強化
- 自然環境・景観の保全

(2) 観光客の状況

- 外国人観光客の伸び率は、ほぼ訪日外国人全数の伸び率と同等、日本人観光客は微減
- 外国人観光客の約5割、日本人観光客の約7割が日帰り
- 外国人観光客は、他の国立公園に比べて欧米豪の割合が高い
- 夏、紅葉期、連休の繁忙期に観光客が集中する反面、冬期は大幅に観光客数が落ち込む
- 外国人観光客・日本人ともに消費が鈍く、特にアクティビティ消費が少ない
- 観光客の満足度が低下傾向、特に日本人の満足度が低い

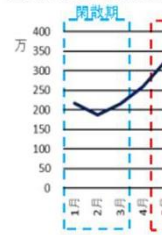
＜日光国立公園外国人利用者・宿泊者数の推移＞



＜日光国立公園観光客入込数・宿泊数の推移＞



＜2019(レ1)年日光国立公園の閑散期＞



■日光国立公園ステップアッププログラム2025

(https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/documents/sup2025_gaiyou.pdf)

4 プロジェクトの実施

(1) 日光国立公園全体での重点取組事項

ア. 上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園	イ. 体験・滞在型の国立公園	ウ. 脱炭素・循環型を実現する国立公園
(A) 既存施設再整備と維持管理、上質化 ・外国人対応、ユニバーサルデザイン化等の再整備 ・施設の美化清掃、老朽化・破損した施設の修繕等の実施 ・日本一きれいなトイレを目指す (B) 良質な景観の保全 ・各市町村で景観計画を策定 ・廃屋の取扱い方針の検討 ・眺望を阻害する樹木等の修景伐採の実施 (C) 新しい利用形態や需要への対応 ・ニューツーリズムの促進 ・MICE・プレジャーの促進 ・ワーケーションの推進 ・キャッシュレス化の推進 ・MaaSの導入 ・バーチャルツアーの実施 (D) 人材の育成 ・多言語対応の強化 ・おもてなし向上 ・自然ガイド認定制度の創出	(A) 宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化 ・夜間や朝の体験コンテンツの造成と磨き上げ ・飲食物産店等の営業時間の延長 ・冬季を中心とした閑散期の誘客促進につながる取組 (B) コンテンツの充実と上質化、情報発信の強化 ・体験コンテンツ・アクティビティ等の充実と上質化 ・WebサイトやSNS等を活用した個別の情報発信の強化 ・AI等を活用した案内の導入 ・国立公園としての一元的な情報発信 ・アクティビティ等のプラットフォームの整備 (C) 連携強化 ・事業者同士の連携、官民の連携 ・二次交通の充実、交通の利便性の向上 ・モデルコース造成、ロングトレイル・サイクリングツアー等の活用による広域周遊促進 ・ビジターセンター等の窓口で国立公園全域の情報を案内できる態勢を作る	(A) 受益者負担による持続可能な環境保全 ・SDGsツアーの創出 ・エコツーリズム推進団体の認定 ・エコツーリズムを通じた自然環境の保全 ・オーバークースの抑制 (B) ルール・マナーの普及啓発と適正利用 ・国立公園の利用ルール・マナーの普及啓発 ・自然エリアや施設の適正利用を図る (C) 脱炭素に向けた取組の推進 ・EV・FCV車の利用促進 ・再生エネルギーの活用 ・EVの利用環境の整備 ・受益者負担による環境保全等の仕組みの検討

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【観光】

- ・ 県多言語観光サイト等により奥日光における観光コンテンツなどの情報発信を実施
- ・ 閑散期誘客（華厳滝ライトアップ、国際避暑地皇室・大使の別荘めぐり）支援の実施



■ 県多言語観光サイト「Visit Tochigi」

(<https://www.visit-tochigi.com/>)



■ 華厳滝ライトアップ (<https://www.tochigiji.or.jp/event/e15115>)

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【交通】

- ・令和5年度からバス運転士不足等の地域課題解決につながる自動運転実現の取組を実施
- ・レベル4（特定条件下における完全自動運転）実装に向けて取組を推進中

TOBU NEWS LETTER
2023年9月13日

奥日光低公害バス路線(赤沼車庫～千手ヶ浜)で、自動運転の実証実験を行います！
～ 運転手不足への対応等、ノウハウを蓄積して自動運転の実装を目指します！ ～

東武バス日光株式会社
株式会社日光自然博物館
東武鉄道株式会社

東武バス日光株式会社（本社：東京都墨田区）と株式会社日光自然博物館（本社：栃木県日光市）は、奥日光低公害バス路線（赤沼車庫～千手ヶ浜）で、2023年9月21日（木）～10月4日（水）の12日間、自動運転の実証実験を行います。

これは2025年度に自動運転システムを導入した路線バスの本格運行を目指す「栃木県ABCプロジェクト」の一環として、栃木県とともに、奥日光低公害バス事業を行う日光自然博物館と、そのバスの運行を受託している東武バス日光に加え、同路線の低Vバスの自動運転実証について、東京大学と共同で研究してきた東武鉄道が協力して行うものです。

本実証実験は、東武グループとして、当該エリアにおける労働力不足解消を図るとともに、エコな先進技術を体感いただき、エリアとしてのブランド力強化を図ることを目的として実施するものです。

東武グループでは、日光エリアを「歴史・文化・伝統と自然が共生する国際エコリゾート」とすべく、これまでもCO₂排出量を削減した新型特急スーパーXの運行をはじめ、環境配慮型・観光MaaS「NEXCO MaaS」の導入、鉄道輸送における実質再生可能エネルギー100%化、廃食油由来のバイオ燃料バスの実証運行等を行っております。今回の低Vバスの自動運転の実証実験によりノウハウを蓄積し、東武グループの他エリアも含め、自動運転の実装を通じて労働力不足解消につなげてまいります。

詳細は別紙のとおりです。



※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター TEL.03-5962-0102

■奥日光低公害バス路線における自動運転の実証実験
(東武鉄道株式会社プレスリリース)

2. 栃木県ABCプロジェクトの実施 (4) 実施結果 | 日光市

22

- 1) 第8回目の実証実験を「日光市」において実施
- 2) 既存営業バス路線において、地元交通事業者等と連携して実証実験実施

(1) 実験概要

- ①実施期間: R5(2023).9.21～10.4(12日間)
- ②実験場所: 奥日光低公害バス路線
赤沼車庫～千手ヶ浜(片道約9.3km)
- ③運行本数: 1日5往復(10便)運行
- ④乗車定員: 1便あたり15人(当日現地乗車制)
- ⑤乗車定員: 1,800人
- ⑥延べ乗車人数: 830人(乗車率:46.1%)
- ⑦その他: 奥日光低公害バス路線において有償運行での実験実施

(2) 実験ルート



(3) 実験状況



■栃木県ABCプロジェクト（栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会第4回協議会資料抜粋）

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【環境】 【交通】

- 生活交通や観光周遊の円滑化のため行楽シーズンの渋滞解消に向けた取組を実施



資料3

令和6年(2024年)9月24日
日光市観光経済部環境森林課

ゼロカーボンシティ実現条例施行に伴う交通渋滞対策
チャレンジいは坂渋滞解消プロジェクトについて

日光市は、令和5年4月に奥日光地域が脱炭素先行地域^{※1}に選定され、令和6年4月には「日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例」を施行しました。

本条例で地域課題の解決と持続可能な地域価値の向上を目指す中、世界遺産周辺市街地や奥日光地域の玄関口であるいろは坂は、紅葉時期を中心とした行楽シーズンにマイカー利用による渋滞が発生し、CO2(二酸化炭素)排出により周辺環境にも負担をかけています。

なお、これまでのいろは坂交通調査において、マイカーによる旅行者全体の約3割が県内旅行者とされています。

これらを鑑み、脱炭素先行地域事業の共同提案者である東武グループとともに、渋滞が集中する土曜・日曜日、祝日の 9:00～15:00 を避けた観光(＝オフピーク観光)、観光旅行者等には「マイカー」から「公共交通機関の積極的な利用」への切り替えに出来る限りご協力いただき、いろは坂の渋滞解消を目指します。

～オフピーク観光でいつもと違った奥日光の特別な景色と時間を見つけてみませんか～

サステナブルな観光地へとアップデートを遂げ、大切な資源を未来に繋げていくためのプロジェクトとして、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

※1 脱炭素先行地域とは、環境省により選定される国内の脱炭素化を推進するモデル地域で、2030 年度までに家庭及び業務部門からの電力消費に伴う CO2 排出量実質ゼロを実現し、地域特性を活かしながら温室効果ガスの削減を目指す地域です。日光市は、「雲の上のサステナブルリゾート「奥日光」：多様な観光資源と脱炭素による地光アップデート」をテーマとして選定されました。



■いろは坂渋滞解消プロジェクト（日光市）

奥日光地域オフピーク観光コンテンツ					
期間：10月12日～11月17日のうち、平日やオフピーク（おおむね9:00～15:00を除く時間帯）のコンテンツ					
情報提供：日光市観光協会、東武鉄道株式会社、日光自然博物館					
No.	コンテンツ名	実施日時	内容	主催者及び連絡先	備考
1	中禅寺湖遊覧船の増便	①10/12(土)～11/14(月) ②11/5(火)～11/17(日)	明日に映える紅葉の名所・八丁出島や男体山、夕暮れに浮かび上がる山の稜線や夕焼に染まる中禅寺湖をご堪能いただけます。 ①船の駅中禅寺 8:30発、16:30発の増便 ②船の駅中禅寺 9:30発、15:30発の増便	東武鉄道(株)広報部 (三井、小林) 03-3621-5640	
2	明智平ロープウェイの早朝運転	①10/12(土)～10/14(月) ②10/19(土)、20(日)、 26(土)、27(日) 11/2(土)、3(日)、4(月)、 9(土)、10(日)、16(土)、 17(日)	中禅寺湖、華厳の滝、男体山をはじめとする山並みなど、日本一の絶景スポットと言われている明智平展望台からの眺望を混雑前にお楽しみいただけます。 ①8:00営業開始 ②7:30営業開始	東武鉄道(株)広報部 (三井、小林) 03-3621-5640	
3	日光紅葉夜行の運行	10/12(土)、19(土)、 25(金)、26(土) 11/1(金)、2(土)	週末の浅草駅23:45発で、奥日光の色彩やかな紅葉を早朝からお楽しみいただけます。奥日光駅まで特急リパティの夜行列車で行き、バスに乗り換えて、奥日光(中禅寺温泉・湯元温泉)へ行くプランです。	東武鉄道(株)広報部 (三井、小林) 03-3621-5640	東武トラップアームズ株式会社 奥日本国内企画センター https://tobutoptours.jp/nikko-kinggawa/nikkoyako/
4	臨時特急列車の運行	(一斉・特急きぬ99号、春日 66-40号 奥日光温泉行き) 10/12(土)、13(日)、19(土)、 26(土)、11/2(土)、3(日)、 9(土)、16(土)、23(土)	10/5～11/30までの期間、臨時特急列車を運行します。奥日光駅では臨時特急列車を最大16本運転し、一部において特急列車の始発時刻を繰り上げます。	東武鉄道(株)広報部 (三井、小林) 03-3621-5640	
5	奥日光ナイトサファリ	11/3(日)、9(土)、16(土)、 23(土) 16:30～18:50	夜間臨時運行の低公害バスに乗り、千手ヶ沢でナイトブチハイキング	日光自然博物館 0288-55-0880	https://www.nikko-nsm.co.jp/tourist_d.html?0:35
6	湯元温泉 街めぐり	11/9までの毎週土曜日 15:00～16:00	湯元温泉 街めぐり	休暇村日光湯元 奥日光小西ホテル 湯元温泉旅館協同組合 日光市観光協会	https://www.nikkoyumoto.com/petit_hiking2024/
7	数珠づくり体験	毎日	立木観音で数珠づくり	中禅寺立木観音 0288-55-0013	https://www.rinnaji.or.jp/hist-ory/temple/chuzenji/02.html
8	小田代原の千手ヶ沢フォレストライド	11月までの特定除日を除く毎日 9:30～15:30 10:30～16:30	低公害バスのルートのサイクリングと自然体験	日光自然博物館 0288-55-0880	https://cbike-akunikko.com/420
9	中禅寺湖カフェ巡りライド	11月までの特定除日を除く毎日 9:30～14:30 10:30～15:30	中禅寺湖畔のサイクリングと湖畔で一服	日光自然博物館 0288-55-0880	https://cbike-akunikko.com/414
10	SUP	9:30～11:30 13:00～15:00	中禅寺湖でのSUP体験	Sup 1 Sup 1 050-6869-4561	https://www.supsup.jp/
11	日光産 鹿茸細工体験	特定日	日光産の鹿茸を使ってアクセサリー作り	奥日光ゲストハウスJUN 合同会社	https://nikko-activity.com/jun/
12	小田代原「草紅葉」ガイドウォーク	10/2(水)、5(土)、6(日)、 11(金) 9:25～10:50/13:55～ 15:20 ※平日より片方の場合あり	奥日光の木々の紅葉に先駆け、一足早く始まる小田代原の「草紅葉」。知る人ぞ知るその絶景は様々な自然の魅力で溢れています。奥日光の紅葉の最前線でネイチャーガイドの解説を聞きながら素晴らしい景色を堪能しましょう。	日光自然博物館 0288-55-0880	https://www.nikko-nsm.co.jp/tourist_d.html?0:327
13	秋の数場ヶ原ガイドウォーク	10/28(月)、30(水) 10:00～11:30/13:30～ 15:00 ※平日より片方の場合あり	標高約1400メートルに位置する数場ヶ原では、平地と比べて季節が1ヶ月ほど早く進みます。真っ盛りの紅葉、冬越しに覆ってきた冬鳥たちの自然を、ネイチャーガイドと一緒にのんびり＆深く楽しみましょう！	日光自然博物館 0288-55-0880	https://www.nikko-nsm.co.jp/tourist_d.html?0:503
14	写仏＆八丁出島ハイキング	10/27(日) 9:00～15:00	色とりどりの紅葉で有名な八丁出島の中をハイキングをしましょう！中禅寺立木観音から特別に許可をいただいている特別なコースです。また中禅寺の方による詳しい説明と共にご本尊の拝観、写仏体験もできます。	日光自然博物館 0288-55-0880	https://www.nikko-nsm.co.jp/tourist_d.html?0:236
15	奥日光低公害バス早朝運	9/28(土)、29(日)、10/5(土)、 6(日)、12(土)、13(日)、14(月)、 19(土)、20(日)、26(土)、 27(日)、11/2(土)、3(日)、4(月)	千手ヶ沢で見る、華厳渓谷からの日の出！ 光の道を鑑賞する早朝便！	日光自然博物館 0288-55-0880	https://www.nikko-nsm.co.jp/bus.html

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【生活】 【交通】

- 「2024年問題」や「バスの運転士数の不足」によりダイヤの見直しが行われた



日本語 ENGLISH 中文(繁体) 1100

X(旧Twitter) Facebook Instagram Youtube

赤沼奥日光低公害バスの車窓から お知らせ ライブカメラ BLOG 戦場ヶ原からこんにちは アクセス

英国大使館
別荘記念公園

イタリア大使館
別荘記念公園

中禅寺湖畔
ポートハウス

栃木県立
日光自然博物館

ネイチャーガイド

低公害バス
赤沼自然情報センター

ガイドツアー

Eバイク

ホーム >> お知らせ >> 奥日光「低公害バス」運行開始日のお知らせ

お知らせ

奥日光「低公害バス」運行開始日のお知らせ

2025.02.11 お知らせ



いつも、奥日光の低公害バスをご利用いただきましてありがとうございます。

令和7年の低公害バスは4月26日（土）に運行を開始いたします。

本年度より、平日・土休日ダイヤを廃止し基本ダイヤ・季節ダイヤにて運行いたします。

「2024年問題」や「バス運転士数の不足」に対応すると共に、利用率が低い閑散期の運行間隔などを見直し土休日でも基本ダイヤでの運行となりますのでご注意ください。ご利用者様には、ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

また、旧路線は昨年まで2種あった時刻表を1種に統一し、行先も全て赤沼へ変更となりました。これにより「ガイドツアー専用バス」が例年より1ヵ月早く、6月から楽しみ頂けるようになりました。幻想的な景色の見られる早朝の小田代原や西ノ湖、千手ヶ浜の日の出や混雑していない時間帯のクリンソウなどを是非お楽しみ下さい。

詳細につきましては別添のとおりです。

今年度のバス時刻表につきましては、当館ホームページ「低公害バスのご案内」よりご確認をお願いいたします。

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【環境】 【生活】

- ・バス事業者（東武バス日光株式会社）と宅配事業者（ヤマト運輸株式会社）が連携
→「客荷混載」により集配車両の走行距離を削減し環境負荷低減

NEWS RELEASE

東武鉄道株式会社

2025年2月12日

東武グループとヤマト運輸が連携し、栃木県日光エリアで路線バスの「客貨混載」を2月20日より開始します！
～日光市街から中禅寺温泉エリアへ、路線バスで宅急便を輸送します！～

東武鉄道株式会社
東武バス日光株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）のグループ会社である東武バス日光株式会社（本社：栃木県日光市、以下「東武バス日光」）はヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区、以下「ヤマト運輸」）と連携し、環境負荷低減の取組み等の一環として、2025年2月20日（木）より、栃木県の東武日光駅と中禅寺温泉バスターミナルを結ぶ路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始します。

この取組みは、東武グループにおける「国際エコリゾート日光」の価値を最大化していくため、地域での連携によるエリア価値向上の一環と位置づけされており、また栃木県日光市が2024年3月に制定し、事業者が脱炭素の推進に貢献する行動に積極的に取り組むとした「日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例」に資するものと考えております。

ヤマト運輸は、同社営業所のある日光市街と中禅寺湖周辺等の奥日光エリアを1日に複数回往復していることから、本事業では、配送経路とバス路線が重複する東武日光駅から中禅寺温泉バスターミナル間において、路線バス網と路線バスの貨物スペースを有効活用し、客貨混載とすることで、ヤマト運輸の集配車両の走行距離削減による温室効果ガス排出量の削減を実現します。

引き続き他の時間帯や路線での事業検討を行っていくとともに、環境等の社会課題、高齢化や過疎化が進む地域等における課題解決、また地域活性化に取り組んでいきます。

取組みの概要図

14:30頃
(宅急便の積込)

15:13発
(お客様乗車)

15:58着、16:03発
(宅急便の引渡)

16:38着
(お客様降車)

東武日光駅前
駐車場

東武日光駅

中禅寺温泉
バスターミナル

湯元温泉
バス停

△客貨混載 (イメージ)

中禅寺温泉～
湯元温泉エリア
(奥日光エリア)

客貨混載の取組み概要

1 開始日 2025年2月20日（木）～ 通年実施

2 ねらい 路線バスの貨物スペースを活用し宅急便を輸送することで、バス路線の新たな収益源とし、生産性向上を図ります。また、ヤマト運輸の集配車両の走行距離削減による温室効果ガス排出量削減に貢献する取組みを推進することで、歴史・文化・伝統・自然が共生する「国際エコリゾート日光」としての認知向上、ブランド力強化の一助としていきます。

3 対象路線バス 東武バス日光路線バス（東武日光駅～中禅寺温泉～湯元温泉間）の東武日光駅 15:13 発→中禅寺温泉 15:58 着、16:03 発→湯元温泉 16:38 着の1便

4 積載区間 東武日光駅前駐車場（栃木県日光市松原町）
約17.5km
東武バス日光 中禅寺温泉バスターミナル
(栃木県日光市中宮祠)

5 積載場所 バス車両貨物スペース
※バス車両の改造等は実施していません。

△積載イメージ

日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例について

栃木県日光市は、脱炭素と地域が抱える課題の双方を解決し、持続可能な地域を目指しています。そのためにあらゆる地域資源を最大限に活用し、地域経済と社会を循環させていくとしています。

2024年に制定したこの条例では、脱炭素の推進や地域資源の有効活用を基本理念に定め、市、市民、事業者及び観光旅行者その他の滞在者が一体となってゼロカーボンシティ実現を目指しています。

日光市長 粉川昭一氏 コメント

当市では、ゼロカーボンシティ実現に向け、行政、民間企業、市民、滞在者が一体となった取り組みを進めています。今回の取組みは、二酸化炭素排出量削減による環境負荷の軽減につながると同時に、業務用車両の減少は渋滞対策にもつながる取組みでもあります。今後も、この取り組みをきっかけとして、企業間連携やシェアリングエコノミーの推進が全市的に広がり、「ゼロカーボンシティ日光」の実現に資することを期待しています。

以上

栃木県 TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

8

1. 地域課題について

奥日光地域における取組と現状について【交通】 【災害】

- ・ 行楽シーズンにおいて大規模な渋滞が発生し生活交通や観光周遊に支障をきたしている
- ・ 奥日光地域につながる国道120号は冬期通行止めや異常気象時等通行規制が発生



【令和6年度冬期通行止め実績】

- 区間延長：17.6km
(栃木県側5.5km 群馬県側12.1km)
- 期 間：令和6年12月25日（水）
～令和7年4月25日（金）



【令和6年秋渋滞状況】

- 神橋を先頭とした最大渋滞長：約4.0km
- 最大所要時間(東武日光駅～神橋)：100分超



【過去通行規制 例】

- 令和元年10月12日
いろは坂（上下）及び金精道路 通行止め



【令和6年秋渋滞状況】

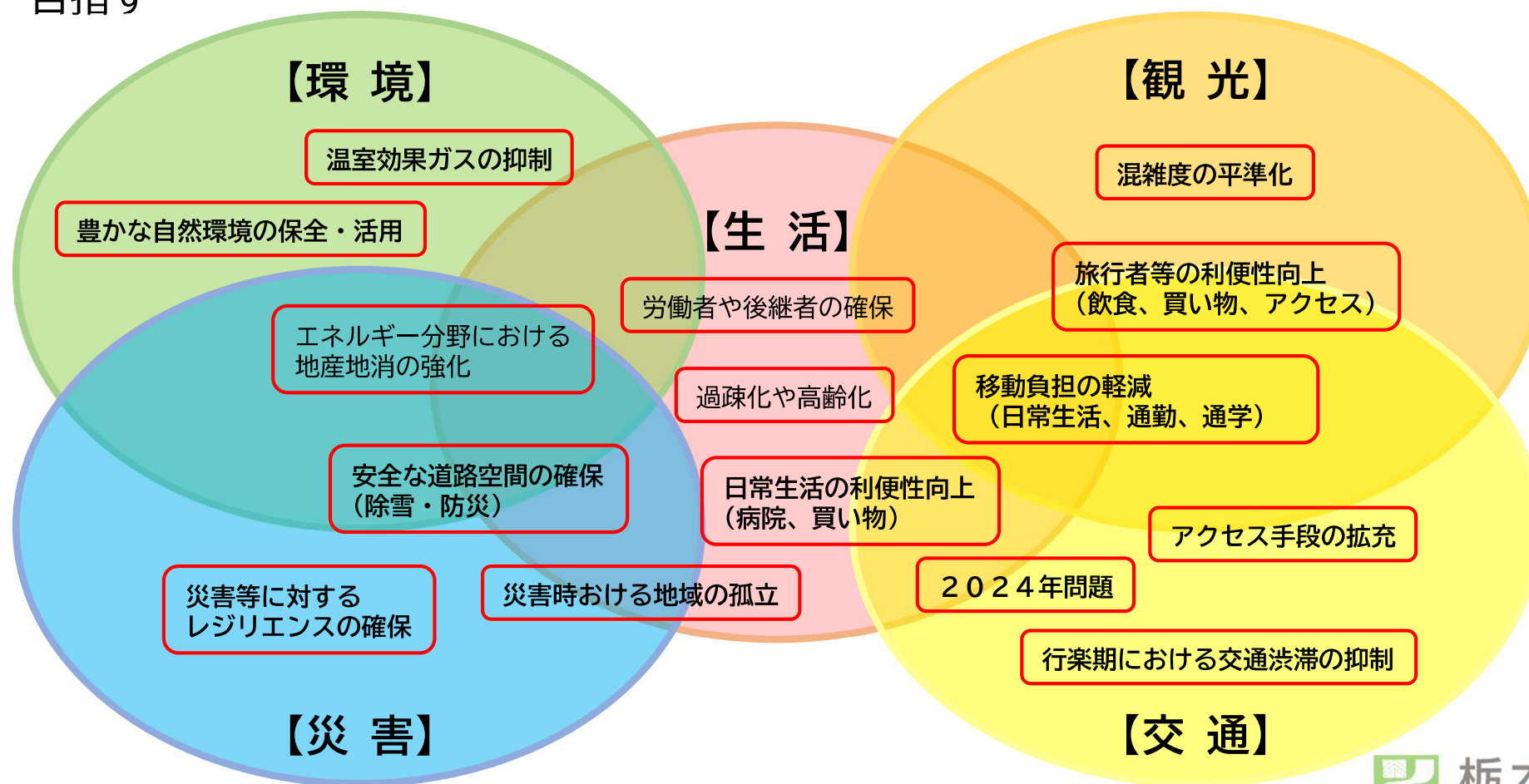
- 路線バス最大所要時間：約4時間
(東武日光駅～中禅寺温泉(急行))



1. 地域課題について

地域課題のまとめ

- ・「環境」「生活」「観光」「交通」「災害」など様々な分野における地域課題を確認
→ 環境に配慮しながら地域全体の人や物の流れを円滑化することにより、持続可能な地域を目指す



2. 調査の方向性について

令和7年度 奥日光地域アクセス新モビリティ導入検討業務

【業務内容】

持続可能な地域づくりに向け、環境に配慮した新たな公共交通システムの構築など、人や物の流れの円滑化につながる取組への基礎的な調査

【調査方針】

- ☐ 地域全体(奥日光地区から世界遺産地区)での把握
- ☐ 繁忙期だけでなく年間を通した把握
- ☐ 様々な視点(自治体、地域住民、関係事業者 など)による把握



【想定される調査(例)】

- ・交通量調査(トラフィックカウンター、日光道、現地観測)
- ・ETC2.0、携帯電話位置情報の分析
- ・公共交通利用状況調査
- ・関係機関、地域住民などへのアンケート調査
- ・物流業者、観光施設、宿泊施設等へのアンケート調査

など



調査結果に基づく地域課題の整理

3. 今後のスケジュールについて

令和7年5月 第2回奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会【今回】

- ・課題の共有
- ・調査方針の共有

9月頃 第3回奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会

- ・調査内容の共有

3月頃 第4回奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会

- ・調査結果の共有

【令和7年度スケジュール】

